

(公財)後藤・安田記念東京都市研究所

(旧・東京市政調査会)

第40回『都市問題』公開講座

自治体議会は必要か？

2015年2月7日(土)13:30~16:30

日本プレスセンター 10階ホール

(〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-1)

基調講演

金井 利之 氏 (東京大学法学部・大学院法学政治学研究科教授)

パネルディスカッション

(五十音順)

寺町 みどり 氏 (「女性を議会に 無党派・市民派ネットワーク」事務局)

中本 美智子 氏 (大阪府吹田市議会議員)

根本 良一 氏 (前福島県矢祭町長)

東野 真和 氏 (朝日新聞編集委員(前大槌駐在))

山口 二郎 氏 (法政大学法学部教授) <司会>

参加費：無料

参加申込み：後藤・安田記念東京都市研究所ホームページ(<http://www.timr.or.jp>)からお申込みください。

申込み期限：2015年2月5日(木)

※満席となりしだい受付を終了しますので、お早めにお申込みください。

問合せ先：後藤・安田記念東京都市研究所 研究室 TEL：03-3591-1261、FAX：03-3591-1279

『都市問題』公開講座は、公益財団法人後藤・安田記念東京都市研究所(旧・財団法人東京市政調査会)の発行する月刊誌『都市問題』の特集などから時宜に適ったテーマを選び開催しています。

第40回は次のような趣旨により、「自治体議会は必要か？」をテーマとして開催いたします。多数の方々のご参加をお待ちしております。

【開催趣旨】

自治体の議会は二元的代表制のもとで首長とならぶ市民の代表機関である。だが、行政に対するチェック機能が発揮されているのか、政策の発議を行っているのか、など多くの疑問が投げかけられてきた。こうしたなかで、議会内での不適切発言や政務活動(調査)費の流用疑惑が噴出し、市民の議会をみる眼は一層厳しくなっている。自治体議会が市民の信頼を得て代表機関としての役割を果たしていくためには、何が問われているのか。歩むべき道筋を考える。